**第6課　祈りの方法と答え　2020.2.23**

◎ 賛美 : 韓日 480番　◎使徒信条

◎ アイスブレーキング

最近の自分の最も切実な祈りの課題は何ですか？もしも長い間祈っても答えられない祈りの課題があるならば何であるのか話してみてください。　◎みことばの中へ

**テーマのみことば**

そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。それは、私たちが敬虔に、また、威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすためです。(Ⅰテモテ 2章 1～2節).

**みことばを広げよう**

**祈りの内容**

一つ目、祈りは神様に賛美と敬拝を捧げることです。神様の偉大さと神様が私たちに与えてくださった恵みに対して賛美し、あがめることが祈りです。ダビデは詩編136篇1節で“主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。”と言い神様の性質を賛美しています。モーセは出エジプト15章13節で“ あなたが贖われたこの民を、あなたは恵みをもって導き、御力をもって、聖なる御住まいに伴われた。”と神様が神様の民たちに与えてくださったおどろく御業を告白しました。

二つ目、祈りは神様に私たちの罪を言い表し赦しを求めることです(Ⅰヨハネ1：9)。私たちはこの地を生きて行く間、いつも私たちの姿を振り返り、イエス様に似た聖さを成していかなければなりません。悔い改めは私たちのたましいを新しくし、清い暮らしを生きることができるようにしてくれます。

三つ目、祈りは全ての状況の中で神様に感謝することです。私たちが理解できない苦難と困難が訪れた時にも神様を信頼して感謝の祈りを捧げる時、主は全てを働かせて益としてくださいます。

四つ目、祈りは神様に私たちの求めることをお話しすることです。私たちは自分だけの力でこの世を生きて行くことのできない弱い存在です。神様は自分の弱さを認め、神様に助けを求める者たちを喜ばれます。彼らの願いを決して放っておかれず答えられます。

Q : 私たちが神様に捧げる祈りはどのような内容が込められていますか？

**祈りの種類**

祈りは一人の祈る者が神様に一人で祈る“個人祈祷”と何人もの祈る人が共に祈る“心を合わせた祈り(合心祈祷)”に分けられます。個人祈祷は一対一の出会いを通して神様とより親密な関係を形成することができます。半面、心を合わせた祈りは多くの人が一つの場所に集まって‘国と民族のための祈り’、‘教会のための祈り’のように一つの問題をおいて共に祈ることです。

祈りの声の有無に従って祈りは声を出さずに祈る‘黙想祈祷’と声を出して祈る‘声を出した祈り’に分けられます。この他にも一日の最初の時間を神様に捧げる‘早天祈祷’と聖霊の言語で祈る‘異言の祈り’、人間の欲求を圧制し神様と霊的な出会いを持つ‘断食祈祷’があります。特に異言の祈りは聖霊様が語らせるまま祈ることであるので、神様のみこころ通り、神様の心に叶う祈りを捧げることができ(ローマ8：26-27)、個人の徳を立てることにも有益です(Ⅰコリント14：4)。断食祈祷は深刻な問題にぶつかった時、問題解決の鍵となり、重大な決断をしなければならない時、神様の導きを受けるようにしてくれます。

Q : 異言の祈りと断食祈祷の有益はそれぞれ何でしょうか？

**祈りの答えの原理**

神様が私たちに答えられる原理は大きく3つに分けられます。一つ目、神様が私たちの祈りにそのまま答えられる場合です。私たちが神様に求めたことが神様のみこころに叶い、神様の計画と合う時に神様は私たちが求めたことをそのまま与えられます。ソロモンが王になった後、民たちを治めることのできるように神様に“聞き分ける心”を求めた時、神様はソロモンの祈りを気に入られ、彼に民を良く治めるために必要な“知恵の心と判断する心”を与えられました(Ⅰ列王記3：6-12)。

二つ目、私たちが求めた時、神様が求めた通りに答えられない場合です。神様は私たちよりも私たちをより良く知っておられ、私たちに必要なものが何であるのかを知っておられます。従って祈るまま答えが来ないとしても、神様の真実さを信じて感謝する心を持たなければなりません。パウロは自分が肉体のとげを取り除いてくださいと神様に三度も求めましたが拒否されました。しかしパウロは自分が弱い時に神様の力が完全であることを悟り、かえって神様に栄光を帰す成熟した信仰の姿を見せてくれました(Ⅱコリント12：7-10)。

三つ目、神様が答えを待ちなさいと言われる場合です。最も適切な答えの時期を知っておられる神様は時々、私たちに待ちなさいという答えをくださることがあります。その時に私たちは神様のみこころに合う祈りならば必ず最善の時に答えが来ることを覚えて、続けて祈りに励まなければなりません。預言者アンナは若い時に夫を失って以降イスラエルの救いのために聖殿から離れずに祈りに邁進しました。ついに彼女の歳が84歳になった時、初めて赤子イエス様に出会う感激を享受するようになりました(ルカ2；36-38)。このように神様のみこころに合う祈りはいつかは必ず答えられます。

Q :神様が私たちに答えられる祈りの三つの原理は何ですか？

**暮らしの中へ**

1. 神様との親交を目的とする個人祈祷も必要ですが何人かが共に集まって捧げる心を合わせた祈りも必要です。今区域と教会で心を合わせて祈らなければならない課題は何か共に分かち合い、祈る時間を持ちましょう。

-心を合わせた祈りは主に一つの問題を置いて多くの人々が集中して祈る祈りの形態です。国と民族、教会、区域のリバイバルや教区の家族の中で病と事故で苦しんでいる兄弟姉妹のために心を合わせて祈る時に神様の答えを経験することができます。

2. 神様が祈った通りに答えてくださらなかったり待ちなさいという答えを受けたことがありますか？その時自分の反応はどうでしたか？どのような答えを受けても感謝することのできるのは何の故であるのか分かち合いましょう。

- 神様が私たちが願うまま答えをくださらなかったり、待ちなさいとおっしゃる時、私たちは落ち込み、試みにあったりします。しかし神様は私たちより私たちを良く知っておられ、私たちになくてはならないことと、最も適切な答えの時期を知っておられます。従ってどのような答えをくださっても神様の真実さを信じて感謝する心を持たなくてはなりません。

**決断と祈り　決断の告白**

· どのような状況でも落ち込まずに、神様に進み出て祈ることを決断します。

· どのような祈りの答えをくださっても神様を信頼して感謝することを決断します。

**祈り**祈りの課題を分かち合い、今日のみことばを考えながら伝道対象者のために声を出して祈りましょう。

**今日の祈り**

神様、私たちを良く知っておられ私たちの暮らしに必要な全てを知っておられる神様を信頼できずに、私たちの思い通りに祈りの答えが来ない時に不平不満をつぶやいたことを赦してください。真実なる神様を信じていつも感謝で祈ることができるようにしてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

**◎ 主の祈りで終える**

**関連聖句**

· まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」(マタイ 18章 19∼20節).

· すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。(エペソ 6章 18節).